

# 園だより

第 13 号

令和 7年 3月 21 日



ばんけい幼稚園

## 「 おおきくなったね！ 」

尾形 玲子

令和6年度がもうすぐ終わります。この時期、子どもたちの姿を見ていると「大きくなったね」「お兄さん、お姉さんになったね」と声をかける場面が増えます。体つきはもちろん、生活の中で見られる行動、日々の会話の中に成長が感じられるからです。先生に手伝ってもらいながら行っていた着替えが**自分でできる**ようになった。生活の流れや遊びや活動に”**見通し**が**持てる**ようになった。自分のことで精一杯だったことが、周りにいる身近な人（お友達や先生）に気持ちを添わせ、**思いやりの気持ち**をもって関わることができるようになった。等々、日々の生活の中での体験の積み重ねが子どもたちの“大きくなる”ことへの**期待と自信**に繋がっていることは間違いありません。そんな経験とパワーが子どもたちの成長を後押ししてくれています。

子どもたちは「山の子」の歌が大好きです。（私も大好きです！）

『大風が吹いても、大雪が降っても「えんやこら」「おいらは山の子だ！」風にも雪にも「負けないぞ！元気に行こう！」』この歌詞の情景がばんけいの生活に似ていて、そして、逞しく、前向きな“山の子”が子どもたちのお気に入り！そして、ばんけいの子もたちも一歩ずつ“山の子”に近づいてきました！

“にこにこ”“キラキラ”の表情で新しいステージへ向かう子どもたち。そんな子どもたちに「みんなは“山の子”だから大丈夫！難しいことだって、乗り越えられるよ！」とおおきなエールを送ります！